

【資料5】改定額シミュレーション(第3回審議会用)

改定案	改定内容						評価	課題・懸念
【案A】 市長、副市長は据え置き、議員はR6年度の一般職の給与改定率(2.62%)に準じた改定		人数	月額	月額順位	月額増額	年収	<ul style="list-style-type: none"> ・市長副市長の給料は県内他都市で改定されておらず、中核市との比較でも一定の水準にあることから、据え置きとすることの妥当性はある。 ・議員報酬の引き上げについては、過去の改定理由との整合性がとれるという点、市長と議員の中核市の位置づけが同程度となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増額幅が大きく、市民の理解が得られにくい可能性がある。
	市長	1	1,058,000	40(→)	0	17,076,120		
	副市長	2	873,000	44(→)	0	14,090,220		
	議長	1	690,000	41(↑6)	18,000	11,136,600		
	副議長	1	628,000	41(↑6)	17,000	10,135,920		
	委員長	9	597,000	-	16,000	9,635,580		
	副委員長	9	592,000	-	16,000	9,554,880		
	議員	13	586,000	42(↑10)	15,000	9,458,040		
人件費影響額 8,360,520円								
【案B】 市長、副市長は据え置き、議員はR7年度の一般職の給与改定率(3.39%)に準じた改定		人数	月額	月額順位	月額増額	年収	<ul style="list-style-type: none"> ・市長副市長の給料は県内他都市で改定されておらず、中核市との比較でも一定の水準にあることから、据え置きとすることの妥当性はある。 ・議員報酬の引き上げについては、最新の民間賃金動向を反映できるという点、A案と比較しても中核市での位置づけは大幅に変わらず、市長と同程度の位置づけとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増額幅が大きく、市民の理解が得られにくい可能性がある。
	市長	1	1,058,000	40(→)	0	17,076,120		
	副市長	2	873,000	44(→)	0	14,090,220		
	議長	1	695,000	40(↑7)	23,000	11,217,300		
	副議長	1	632,000	40(↑7)	21,000	10,200,480		
	委員長	9	601,000	-	20,000	9,703,746		
	副委員長	9	596,000	-	20,000	9,623,016		
	議員	13	591,000	40(↑12)	20,000	9,538,740		
人件費影響額 10,716,960円								
【案C】 市長、副市長は据え置き、議員はR6年度とR7年度の一般職の給与改定率累積(6.01%)に準じた改定		人数	月額	月額順位	月額増額	年収	<ul style="list-style-type: none"> ・市長副市長の給料は県内他都市で改定されておらず、中核市との比較でも一定の水準にあることから、据え置きとすることの妥当性はある。 ・議員報酬に反映できていない直近2年間の一般職の改定率累積とすることで、民間の賃金動向を反映できるという妥当性はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増額幅が大きく、市民の理解が得られにくい可能性がある。 ・中核市比較においても、市長の順位を上回り、バランスが取れない。
	市長	1	1,058,000	40(→)	0	17,076,120		
	副市長	2	873,000	44(→)	0	14,090,220		
	議長	1	713,000	34(↑13)	41,000	11,507,820		
	副議長	1	648,000	35(↑12)	37,000	10,458,720		
	委員長	9	616,000	-	35,000	9,942,240		
	副委員長	9	611,000	-	35,000	9,861,540		
	議員	13	606,000	33(↑19)	35,000	9,780,840		
人件費影響額 18,770,820円								